

【都筑区】平成 29 年第 2 回区づくり推進横浜市会議員会議 議事録

開催日時	平成 29 年 6 月 5 日 午前 10 時 00 分 ～ 午前 11 時 50 分
場 所	都筑区役所 5 階 特別会議室
出席者	<p>【座 長】望月高德 議員</p> <p>【議 員：4 名】草間剛 議員、長谷川琢磨 議員、木原幹雄 議員 齋藤真二 議員</p> <p>【都筑区：33 名】畑澤健一 区長、奥田正則 副区長、 星野雅明 災害対策担当部長（都筑消防署長）、 永井京子 福祉保健センター長、 石川秀一 福祉保健センター担当部長、 芳我裕子 都筑土木事務所長 ほか関係職員</p>
議 題	<p>1 平成 29 年度 都筑区に係る予算のすがたについて</p> <p>2 平成 29 年度 都筑区自主企画事業の主な事業と取組について</p>
発言の 要 旨	<p>【都筑区に係る予算のすがたについて】</p> <p>齋藤議員：区が執行している予算の規模約 2,065 億円の内訳を伺いたい。</p> <p>小田川予算調整係長：四捨五入の関係上、合計額が一致しない部分があるが、区配予算が約 1,312 億円で約 64%、区づくり推進費が約 128 億円で約 6%、人件費が約 624 億円で約 30%である。</p> <p>長谷川議員：区庁舎・区民利用施設管理費の区庁舎等管理費が平成 28 年第 2 回区づくり推進横浜市会議員会議資料の予算と比較して 778,000 円の差があるのはなぜか。</p> <p>金指総務課長：今年度から税務課の車両経費が区づくり推進費に統合されており、29 年度との比較のため、28 年度に 778,000 円を足したものである。</p> <p>【未来につなぐオリンピック・パラリンピック事業】</p> <p>草間議員：都筑区と英国とのつながりはどのようなものがあるか。また、英国とのつながりがある区民を探し、地域と関わりたい区民も一緒に事業を進めていく方法を検討してほしい。</p>

下村地域振興課長：都筑多文化・青少年交流プラザと連携しながら、英国関係団体等と調整し、英国とのつながりを深めていきたい。また、国際プールが英国のキャンプ地となることの周知とともに、英国とつながりのあるボランティアも含め募集したい。

【自治会・町内会支援事業（自治会町内会加入促進）】

長谷川議員：自治会町内会加入促進について、資料に記載されていることだけではなく、それ以外の取組があれば伺いたい。

畑澤区長：自治会町内会は地域を支える根幹と考え、様々な加入促進の取組をしている。例えば未加入の管理組合に直接話をするなど、色々なケースに応じて対策を行っており、転入者への資料入り封筒の配布はその一部である。

下村地域振興課長：区役所と町内会単位で行う取組がある。区役所の取組のひとつとして、大規模マンションが建つ時に販売業者等と調整し、入居と同時に自治会の設立をお願いしている。一方、町内会単位では、未加入の方へ個別にリーフレット等を配布していただいている。

長谷川議員：町内会では、仕事量が増加して加入促進活動が十分できない。行政から依頼する仕事の軽減はできないのか。

下村地域振興課長：軽減できる方法を検討しながら、加入促進をともに行っていきたい。

斎藤議員：転入者の町内会加入率を伺いたい。

下村区政推進課長：転入者の加入状況は把握していませんが、転入時に配布している町内会加入のはがきの返信は、28年度が123件、27年度が109件で、微増している。

【街のにぎわいづくり事業（都筑区民まつり）】

草間議員：区民まつりの在り方について伺いたい。

下村地域振興課長：本市最大規模の区民まつりを維持できるよう地域の団体と連携を取り、区役所全体で関わっていく。地域としっかり議論していきたい。

畑澤区長：区民まつりののにぎわいを誇りに思っている。十分議論をするとともに、まつりの要となる調整は区役所で行っていく。

草間議員：区民まつりの規模を維持するのではなく、発展させていく考えもある。全体調整については、区役所が担った方がよい。開かれた議論を期待する。

【災害にそなえる自助・共助の推進事業】

望月議員：地域防災拠点における訓練の実施について、拠点毎に課題があると思うが、個別の対応をされているのか。

金指総務課長：訓練には区の職員も参加しているので、会合等をとおして地域の方と一緒に課題を検討していくことになる。

望月議員：防災の指導をされる方への支援について伺いたい。

金指総務課長：指導役の方には、研修を3回行い、地域の要望に応じた個別の研修も行っている。引き続き、各地域に必要とされる研修を行っていきたい。

【危機管理対策推進事業】

斎藤議員：早淵川水防訓練について、実施内容を伺いたい。

金指総務課長：南山田町周辺にお住いの地域の方を対象に、3基のスピーカーを鳴らし、地域の方に避難をしていただく。隔年で鶴見川・早淵川沿いで訓練を行っている。

斎藤議員：今までの水防訓練でスピーカーの聞こえ方に問題はないか。

金指総務課長：2年前に行った早淵川水防訓練は、今回行う南山田町とは別の場所で行っている。今回の水防訓練でスピーカーの聞こえ方を確認する。

【安全・安心なまちづくり事業】

長谷川議員：地域が行っている青色防犯活動パトロールが、犯罪件数の減少に結びついたと考えているか。

下村地域振興課長：都筑区の刑法犯認知件数は下がっている。地域の目が犯罪を未然に防ぐ効果があり、非常に重要な取組である。

【生活衛生推進事業（安全で快適な暮らし支援事業）】

望月議員：ハチの駆除について、実績があれば伺いたい。

森田生活衛生課長：スズメバチなど危険性のあるハチは、駆除業者を紹介している。比較的安全とされているハチは、駆除器具を貸し出している。28年度の相談件数は、215件である。

望月議員：道路の街路樹等にハチの巣ができた場合について伺いたい。

芳我土木事務所長：道路や公園にできたハチの巣は、土木事務所で駆除している。

望月議員：人通りのある道路のハチの巣駆除や樹木の剪定について、迅速な対応をお願いしたい。

【つづき水と緑の魅力アップ推進事業】

木原議員：全国都市緑化よこはまフェアによって、高まっている区民の緑化意識をどのようにして継続していくのか。

田中区政推進課長：花いっぱい運動や、緑化フェアを契機に開始した「早渕川・老馬谷ガーデン」プロジェクトなどをおして、花や緑とかかわっている方々と連携し、区内の緑化に取り組んでいきたい。

長谷川議員：わが庭・花壇・菜園自慢について、個人宅での応募はきているのか。

田中区政推進課長：個人宅の応募はないが、現時点で、団体では4団体きている。

長谷川議員：個人宅の公表は、ハードルが高いのであれば方向性を軌道修正する必要があると考えている。

長谷川議員：水と緑の散策マップの状況について伺いたい。

田中区政推進課長：売り上げは、年々落ちてきているが、区民活動センターと連携して、散策されているグループの方にモニターとして使用していただくなど、ご利用はいただいている。

長谷川議員：効果的な運用方法を検討していただきたい。

【まちづくり総合調整事業】

木原議員：ボランティアバスについて、現在の状況を伺いたい。

田中区政推進課長：現在では30人程度の登録があるが、今後PRを行っていくことで、充実を図っていきたい。

斎藤議員：地域とうまくマッチングできるよう検討しながら進めていただきたい。

【ハマロード・サポーター、公園・緑道愛護会活動推進事業】

木原議員：全国都市緑化よこはまフェアが地域に根付くような、公園・緑道愛護会の取組があれば伺いたい。

芳我土木事務所長：緑化フェアの事例を参考にして、愛護会で管理している花壇に取り入れていただければと思っている。

長谷川議員：愛護会はボランティアで活動しているのに予算が減少しているが、このまま仕事をお願いしていいのか。

芳我土木事務所長：予算の付け替えによるもので、事実上は減少していない。関係局と協力しながら新たな管理方法等も取り入れていきたい。

【広報・広聴事業】

長谷川議員：区役所来庁者への情報提供の促進のため、1階総合案内に設置されている書棚を拡充することはできないか。

田中区政推進課長：必要な情報を整理して資料を設置しているが、拡充する必要があるかも含め検討する。

望月議員：スペースの都合で難しいところもあると思うが、できることがあればお願いしたい。

その他

【横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた都筑区行動指針について】

木原議員：小規模多機能介護事業所の整備について伺いたい。また、都筑区に隣接している区の日常生活圏域に事業所がない場合の対応について伺いたい。

星高齢・障害支援課長：都筑区には7か所事業所が整備されている。都筑区に整備されている事業所のサービス区域は周辺区にも及んでいるため、他区の日常生活圏域に事業所がない場合、都筑区で受け入れている。

石川福祉保健センター担当部長：都筑区は、小規模多機能介護事業所だけではなく、訪問看護ステーション等の施設が充実しているが、区行動指針の策定を行うなかで、周辺区とも情報共有をしていきたい。

草間議員：都筑区の平均年齢が40歳程度だが、この世代が親を呼び寄せる、呼び寄せ高齢者について状況を伺いたい。

石川福祉保健センター担当部長：呼び寄せ高齢者の統計はないが、都筑区は75歳以上の社会増が比較的多い。この社会増が呼び寄せ高齢者に該当するのか、今後確認していきたい。

草間議員：呼び寄せ高齢者の問題提起を都筑区から挙げていただきたい。

【横浜市都筑区における区民文化センター基本構想検討委員会の進め方について】

草間議員：区民文化センターの在り方について伺いたい。区民文化センターに機能的な付加価値をつけるべきと思うがどうか。

田中区政推進課長：区民文化センター自体は、市で統一された仕様があり、定められた形に沿ったものとなる。運用面については、区民の皆さんの意見を聞きながら、基本構想検討委員会等で十分議論をしていきたい。

	<p>草間議員：区画整理の時に市の文化施設ができると説明し、地権者に土地を提供してもらっている。その売却益で整備する文化センターは、地域の意思を反映すべきと思うが、その点について伺いたい。</p> <p>畑澤区長：基本構想検討委員会の委員の皆さんの協議により、様々な特色をつけていければと期待している。</p> <p>草間議員：横浜市全体のまちづくりや区画整理の視点で、横浜市の約束をどう守っていくのか、ということも踏まえた議論をお願いしたい。</p> <p>望月議員：区民だけでなく事業にかかわった職員が誇りに思えるようなものを、区民と一緒に作っていただきたい。</p> <p>畑澤区長：委員の皆さんが議論を重ねる中で都筑区らしさが取り入れられ、区民の皆さんがよかったと思えるものを作っていきたい。</p> <p>斎藤議員：区民文化センターができた後、公会堂等の施設は運用が変わるのか。</p> <p>田中区政推進課長：変更はない。</p>
<p>備 考</p>	